

平成 31 年度第 1 回逗子市総合計画審議会 会議概要

日 時：平成 31 年 4 月 4 日（木）18：00～19：30
場 所：逗子市役所 5 階第 3 会議室
出 席 者：出石会長、磯部副会長、倉田委員、佐藤委員、渡邊委員、三原委員、
田倉委員、山口委員、佐野委員、横地委員、中寫委員、志村委員
市側出席者：廣末国保健康課長
欠 席 者：藤井委員、柳澤委員、池谷委員
事 務 局：福井経営企画部長、福本経営企画部次長、仁科企画課主幹、
四宮専任主査、金子主任、橋本主事（記録）
傍 聴 者：1 名

配付資料：

次第

- | | |
|------|-----------------------|
| 資料 1 | 平成 31 年度総合計画審議会スケジュール |
| 資料 2 | 逗子市総合計画実施計画（見直し案）について |
| 資料 3 | 評価ランクの基準 |
| 資料 4 | 事業進行管理表 |
| 資料 5 | 個別計画進行管理総括表 |
| 資料 6 | 基幹計画進行管理表 |
| 資料 7 | リーディング事業の年次計画 |

議事概要：

1 開会

2. 平成 31 年度総合計画審議会のスケジュールについて

- 資料 1 について、事務局から説明した。

3. 逗子市総合計画実施計画（見直し案）について【諮問】【審議】

- 逗子市総合計画実施計画（見直し案）について、審議会に対し諮問した。
 - 資料 2 について、事務局から説明し、次の質疑応答及び意見があった。
 - ・個別計画の懇話会からの指摘について、今回の見直し項目自体に違和感があるということか。それとも、例えば異常な高温に起因する疾病とかもう少し広めにとるべきだというような意見だったのか。
- ⇒現在の個別計画や健康づくりを前向きにしていこうという懇話会のあり方からす

ると、予防という観点については、熱中症対策だけでなく、もう少し時間をかけて議論した方がいいのではないかということだった。

- ・個別計画の懇話会の名称と何を所掌としている懇話会か。
⇒名称は健康増進計画推進懇話会で、健康増進計画の策定と進行管理を行っている。
 - ・保育園や幼稚園、小学校で、気温が何度以上になった場合には、野外活動をさせないといったことも、取り組みに含まれるのか。
⇒野外活動を判断するための情報等、必要な情報はしっかりと伝えるといったことも普及啓発に含めて取り組んでいく。
 - ・野外活動の判断基準について、各施設に任せるのではなく、一律に取り決めることはできないか。
 - ・野外活動の判断に当たっては、市内の地域差だけでなく、施設内でも差がある。日なたは熱中症指数が高くても、木陰のプールは大丈夫といったこともある。
 - ・総合計画を評価していく中で、この取り組み結果がどう見えてくるのか。
⇒リーディング事業ではないため、進行管理の対象とはならない。総括的な評価で判断いただく。
- 逗子市総合計画実施計画（見直し案）について、妥当である旨、答申することし、答申文については、会長と事務局に一任することとした。

4. 総合計画の進行管理の方法について【審議】

- 資料3～7について、事務局から説明し、次の質疑応答及び意見があった。
- ・最終的に誰に対してこの様式を見せるのか、それを考えて作る必要がある。
 - ・評価は全ての様式においてA、B、Cにするなど、統一した見た目にした方がわかりやすいのではないか。
 - ・質的な評価を反映できるような様式にした方がいいのではないか。
 - ・システムティックな評価をすることによって、ある程度客観的な評価ができるようにつくりになっている。その結果を市民に出すときに、市民にとってわかりやすくまとめればいいのか。
 - ・今回評価をする際には、総合計画見直しの必要性についての視点はないということか。
⇒見直しについては、前倒しで昨年度に議論した。すでに後半4年間が始まっていることもあり、そこは割り切る必要がある。
 - ・基幹計画進行管理表の評価について、「×」の評価があった方がいいのではないか。

5. 進行管理部会員の指名

- 進行管理部会の部会員について、意向の確認を行った。
- 出石会長が次の委員を部会員に指名した。
 - ・ 公募委員から倉田委員、佐藤委員、藤井委員、渡邊委員
 - ・ 住民自治協議会から磯部委員、三原委員、柳澤委員、田倉委員

6. その他

- 諮問案件となっている総合計画に関する条例等について、事務局から現状を報告した。
- 次回の総合計画審議会及び進行管理部会の日程については、後日調整をする。

7. 閉会